



「大鷲」

校長 柴澤明子



初めて富士山を見た時、圧倒的な大きさに驚きました。しかし、大きさだけではなく、表現しがたい畏敬の念を覚えたのです。これまで見てきた様々な富士山を表すもの、映像や写真とは違い、本物だけがもつ太刀打ちできないようなパワーを感じました。

「この町の人は、毎日これを見ているのだ」と思うと、うらやましい反面、私が感じた心震えるような感動を味わうことができるのだろうかと思ったりして。

毎年、南区の未来創造教室の支援を受け、さらに、この2年間は新潟市教育委員会主催の「食と農のわくわくSDGs」に参加して、総合的な学習で、地域の課題について、その解決のために「自分にできることは何か」を、子どもたちが考え追究していく学習に取り組んできました。

昨年度は5年生が「米作り」について、今年度は3年生が「野菜作り」について重点的に取り組みました。今年度の課題は「規格外の野菜が無駄になっている」という課題に、子どもたちなりにその解決策を提案しました。

毎年感じてきたことですが、総合学習を進めていくうちに、子どもたちが自分の住む“大鷲”の様々なことに気付いていくのが分かりました。すごくおいしい野菜や果物の産地であること、その仕事に一生懸命取り組んでいる農家の皆さんがいること、豊かで美しい自然に囲まれていること、多くの地域の方が自分たちを支えてくれていること、おうちの人がいつも自分を応援していること…。そこに住んでいるのに、いつも過ごしているのに、気付かないことがたくさんあるのだと知っていくのです。

だからこそ、思います。富士山の地元の人たちは、心震えるような感動を毎日味わうわけではないけれど、富士山がそこにあるだけで、時々見上げては幸せな気持ちになっているのではないかと。当たり前のようにそこにある大鷲の景色、自慢の農産物、心温かな地域の人々、いつも応援をしてくれるおうちの人に気付く…そんな学習を終え、子どもたちは大鷲のことが一層好きになり、誇りに思うことができた一年だったのではないかと。

さて、「笑顔と一生懸命がいっぱいの大鷲小学校」を目標に取り組んできた一年が終わろうとしています。学校だより「おおわし」も今年度最終号となりました。

この一年、常に大鷲っ子を、大鷲小学校を、温かく見守ってくださいました保護者、地域の皆様のご支援とご協力に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

大鷲小学校93名の子どもたちとの「出会い」に、

保護者・地域の皆様との「出会い」に、心より感謝いたします



ありがとう！6年生のみなさん！～ 六年生を送る会 ～

2月に「六年生を送る会」を行いました。1年生は元気いっぱいのダンスを披露し、2年生は会場の飾り付けや縦割り班のメッセージカードづくりを担当しました。3年生は「6年生クイズ」で会場を盛り上げ、4年生は「VS6年生！」と題したゲームを企画。1～5年生が6年生とさまざまなゲームで交流し、会場にはたくさんの笑顔が広がりました。5年生は会の準備や進行を担い、6年生へ感謝の気持ちをしっかりと届けていました。

これまで大鷲小学校のリーダーとして全校を引っ張ってきた6年生。会の最後には、6年生から在校生へ感謝の言葉と、これからの大鷲小学校を託すメッセージが伝えられました。全校のみんなの思いが一つになった、心温まる会となりました。



子ども見守り隊のみなさんへの感謝の会



「子ども見守り隊の方々への感謝の会」を行いました。日頃から子どもたちの登下校を見守ってくださっている地域の皆様に学校へお越しいただき、子どもたちから感謝の気持ちをお伝えしました。代表して6年生が、これまでの見守りへのお礼の言葉を述べました。

地域の皆様の温かい声掛けと見守りのおかげで、子どもたちは今年度も安心して学校に通うことができました。子どもたちにとっても、大変心強い存在です。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

園児の皆さん 4月に待ってるよ

1年生と保育園の園児の皆さんとの交流会を行いました。1年生は学校での1年間の様子を紹介したり、鍵盤ハーモニカの演奏を披露したりして、小学校の生活を伝えました。また、楽しいお祭りコーナーを準備し、園児の皆さんを温かく迎えました。

1年生は「お兄さん」「お姉さん」としてやさしく遊び方を教えたり、「すごいね！」と声をかけたりしながら、いっしょに楽しい時間を過ごしました。帰るときには園児の皆さんから「とても楽しかった！」「また来たいな」とうれしい声が聞かれ、大きく手を振って帰っていきました。学校中が笑顔に包まれた、和やかな交流会となりました。

